

4 果樹カメムシ類

令和6（2024）年度も果樹カメムシ類による被害が予想されたことから、注意報を2回、技術情報を4回発表し、農業者はじめ関係機関に対して注意喚起を行った。

1 注意報（5月9日発表分）

- （1）作物名：果樹全般（ウメ、モモ、ナシ、ブドウ、カキ等）
- （2）病害虫名：果樹カメムシ類（チャバネアオカメムシ、ツヤアオカメムシ）
- （3）注意報発表の根拠

ア フェロモントラップにおけるチャバネアオカメムシの4月第4半旬から5月第2半旬までの累積誘殺数（令和6年度は5月8日までの暫定数値）が額田郡幸田町及び豊田市で多かった。

イ 県内の果樹園でチャバネアオカメムシ、ツヤアオカメムシの飛来を確認している。

ウ 名古屋地方気象台5月9日発表の1か月予報によると、気温は高い見込みで、今後果樹カメムシ類の果樹園への飛来増加に伴う被害の発生が予想される。

（4）防除対策

ア 果樹カメムシ類は、20℃以上で風が弱い夜に行動が活発になり長距離移動するようになる。そのため、平坦部の果樹園に突然飛来したり、山沿いの果樹園で飛来が急増したりするので、園内をよく見回り、成虫の飛来状況を確認する。

イ 果樹カメムシ類は局地的に飛来し、集中して加害する傾向がある。また、園地間差が大きいので、過去に被害が多かった園では特に注意する。

飛来を確認したら、残効の長いネオニコチノイド剤もしくは合成ピレスロイド剤などで防除する。

参考：農林水産省農薬登録情報提供システム (<https://pesticide.maff.go.jp>)

ウ モモ、ナシ、ブドウなどで袋がけを行う場合は、なるべく早く行う。

2 注意報（9月2日発表分）

- （1）作物名：ナシ、カキ、カンキツ等
- （2）病害虫名：果樹カメムシ類
- （3）注意報発表の根拠

ア 新城市に設置した予察灯において、果樹カメムシ類の8月第1半旬から8月第5半旬までの誘殺数の合計が各種とも過去10年間と比較して多い。

イ 7月下旬に行ったヒノキ球果の口針鞘数調査の結果、県内各地点において既に多くの地域で果樹カメムシ類の果樹園への飛来が始まっていると推定される。

ウ 名古屋地方気象台8月29日発表の1か月予報によると、気温は高い見込みで、果樹カメムシ類の活動に好適な条件となる。

（4）防除対策

ア 果樹カメムシ類は夜温が高く風の弱い夜に果樹園へ飛来することが多い点を参考にして、ほ場での飛来状況をよく確認する。局地的に飛来し、集中的に加害する傾

向があるため、被害の発生状況は園地間差が大きい。過去に被害が多かった園や山林に近い園では特に注意する。

イ 発生を確認したら薬剤を散布する。なお、収穫中のほ場における薬剤の使用にあたっては、収穫前日数に注意する。